

アメリカ オレゴン州 ヴァーノニア高校 里永 さん  
留学期間 R1.8～R2.3（1年間）

## 1 留学の成果

私は、アメリカへの長期留学から数多くのことを学び、人として大きく成長できたと思います。約8カ月間、自分の知らない土地に身を置き、イチから全てを始めることは新しい挑戦であり、日々英語に触れることができる素晴らしい機会でした。何よりもこの留学生活で自分のことについて多くを知ることができました。というのも、今までと違う価値観を持った多種多様な人たちと関わることで、自分に正直になることができるようになりました。アメリカの人は、自分の思ったことや考えたことをストレートに言います。自分に素直な人が多いです。例えば、好き嫌いをはっきり言ったり、自分の意見を率直に相手に伝えたりします。私は、日本にいた時と比べて、しっかりと自分の意見を言うようになりました。それと同時に、相手の意見を聞き、受け止める心も大切だと学びました。

アメリカの高校に通い、自分の世界観や将来への選択肢が広がりました。私のホストスクールは、中高一貫で全校生徒約300人の小さい学校ですが、世界からの留学生が私を含め16人います。留学生一人一人がそれぞれのバックグラウンド（文化的背景）を持って生活をするため、日常に他者のそれが垣間見られる時があり、逆に自分のそれが相手に認識されることがあります。例えば、日本人は、食後に合掌をします。私は、アメリカにいる時も、食事の際には合掌を欠かさずに行っていました。すると「お前、何してんの？」と一緒に食べていたグループに聞かれました。私は、合掌の説明をするとともに、日本の文化を友達に知ってもらいました。次の日、「あれ、忘れた。食べる前になんて言うんやっけ？キセイ」と聞かれ、面白いことにその日からは、友達が食事の際に合掌をするようになりました。周囲に留学生が多かったため、自分から様々なことについて留学生の友達と話している内に、その国の文化・歴史、政治について深く知ることができました。様々な違いを知り受け止めることで、私の持っていた世界観は更に広がっていききました。私は、ドイツ語、エンジニアリング、現代問題の授業を取っていました。ドイツ語は、自己紹介とプレゼンテーションができる程にまで上達しました。エンジニアリングでは、基礎的なプログラミングの知識を身につけ、簡易的なゲームを作ることができました。現代問題では、基本的に話題になっているニュースを取り上げてクラスメイトとディスカッションをします。日本では授業として学ぶことがないと思うので、新しい経験ができ、それは自分の視野を広げてくれました。

また、私はこの貴重な留学生活を無駄にしないよう日々大切にしていたことがあります。それは、初めから拒むことを考えずに何でも取り敢えずやってみるという姿勢です。言ってみれば、良い意味でのYESマンになるということです。結果から言うと、このような姿勢は平凡だった留学生活にたくさんの新しい機会と経験を与えてくれました。特に、YESマンになったことにより友達との交流が多くなりました。交流が多くなったこ

とにより英語を使う機会も増え、自分の英語力の伸びを更に感じました。

この留学を通し、日本で今まで気づかなかった「感謝の気持ち」「気遣いの心」を感じました。家事の大変さ、何かを成し遂げる大変さ、アメリカで経験したこと全てが、自分自身でやり遂げたからこそ分かることであり、ここで養った感覚をこれからも大切にしていきたいです。そして、これは決して誰しもが経験できることではなく、両親や友達、学校や福井県の援助のおかげだと考えています。留学で出会った人、私の支援してくださった方々、全ての人と環境に深く感謝をしています。

## 2 履修状況、課外活動等

### (1) 履修科目

- ・アメリカ史
- ・アメリカ文学
- ・物理
- ・科学
- ・高等数学
- ・エンジニアリング
- ・ドイツ語
- ・現代問題
- ・Creative writing
- ・体育

### (2) 課外活動および受賞歴等

- ・cross-country (クロスカントリー部)
- ・basketball (バスケット部)
- ・track and field (陸上部)
- ・robotics (ロボット部)
- ・10日間アウトドアスクールキャンプに参加  
グループのリーダーに任命され、6th grader とともにキャンプをしながらアウトドアの事について教える。
- ・毎週第三土曜日の缶、瓶、回収に参加
- ・地域の人ボランティアに参加  
地域のフリーマーケットの設置、物の回収の手伝いをする。
- ・ホームカミング
- ・ウィンターフォーマル

### 3 今後の活動予定

まずは、残りの学校生活を勉学に励みながら、できることを必死にやっていきたいです。高校卒業後は、大学に入り更に学びを深めるとともに、お世話になった留学機関のお手伝いをしたいと思っています。自分が留学で学んだことや経験したことを、今後留学に行く人に知ってもらい、その助けになりたいです。また、将来は、航空関係の仕事に就きたいと考えています。

### 4 記録写真



ウィンターフォーマルの日、友達との会話を楽しみながら、踊りまくりました。

ハロウインの日、留学生の友達と近所を回りました。人生で初めての本格的なハロウインでした。一夜だけで、バケツ一杯のお菓子をもらいました。



第二次世界大戦時に使われた旧アメリカ軍事基地を訪れました。戦争の怖さを身にしみて感じました。

